

第224号

平成30年(2018年)/11月臨時会/12月定例会

- ◆2面～5面・・・会議の概要・代表質問
- ◆6面～9面・・・一般質問
- ◆10面・・・可決議案・常任委員会審査概要ほか
- ◆11面・・・附帯決議書ほか
- ◆12面・・・2018年の那覇市議会の動き

なは

市議会だより

平成31年(2019年) 1月25日発行

那覇市議会

那覇市泉崎1丁目1番1号
電話 (098) 862-8194
FAX (098) 862-8296

<http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>

謹んで新春のお慶びを申し上げます

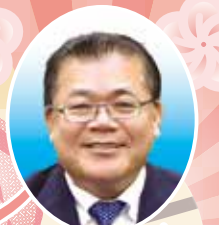


年頭のごあいさつ

二元代表制の一翼を担う議会の責務を果たすため



副議長 金城 真徳



議長 翁長 俊英

平成 31 年 (2019 年) 新春

あけましておめでとうございます。
市民の皆様には希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。
旧年中は、私も那覇市議会に對しまして、格別なるご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
さて、昨年を振り返りますと、那覇市議会では2つの朗報がありました。

6月には、早稲田大学マニフェスト研究所が発表した2017「議会改革度ランキング」では、政務活動費の領収書をホームページで公開することをはじめ、議長選の立候補制導入やタブレットを活用したICT化の推進、そして「市民との意見交換会」における市民意見に対する回答をホームページで公開することなどが評価され、全国44位へランクアップいたしました。
また、10月に、日経グローバルが発表した「議会活力度ランキング」では、若い議員の比率が高いこと、議会報告会の実施、議場のバリアフリー化や陳情者の委員会説明の実施、そして議員間討議の活発化などが認められ、全国2位という非常に高い評価をいただきました。

この結果に満足することなく、二元代表制の一翼を担う議会の責務を果たすため、今後も行政のチェック機能、政策立案機能の充実を図るとともに、引き続き、市民に親しまれ、分かり易い開かれた議会を目指し、議会改革に鋭意取り組んでまいります。

今年は市制施行98周年、5月には新たな元号となる年であり、2021年に那覇市は100歳を迎えます。節目の年を心豊かに迎えられるよう、市民に寄り添いながら課題に取り組み、議員一同、一丸となって平和で活力ある「市民本位のまちづくり」に、全力を傾注してまいります。

本年も、市民の皆様にとりまして、実り多いすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
イッペー ニフエー デービル

平成30年度那覇市一般会計補正予算(第6号)などを可決

12月定例会

平成30年12月定例会は、12月3日から12月26日までの24日間の会期で開催され、平成30年度那覇市介護保険事業特別会計補正予算、条例など33件が可決、同意されました。

会議の概要

◆12月3日(開会) 提案理由聴取

市長の挨拶の後、市長から提案されている33件の議案について、それぞれの所管部長から提案理由の説明が行われました。

◆12月17日 条例等議案に対する質疑・委員会付託

那覇市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定案についての質疑があり、その後26件の議案について、それぞれ所管の常任委員会に付託されました。

次に、平成30年度那覇市一般会計補正予算(第6号)案についての質疑があり、その後7件の議案については、予算決算常任委員会に付託されました。報告案件4件に対する質疑はありませんでした。新たに受理された8件の陳情は、所管の常任委員会に付託されました。

◆12月26日(最終日) 一般会計補正予算案、条例制定案可決

5常任委員会委員長から付託議案の委員会審査報告書が提出され、それぞれの委員長から委員会において全会一致で可決、同意された議案についての報告がありました。

採決の結果、「那覇市火災予防条例の一部を改正する条例制定について」「総務常任委員会関連議案1件」「那覇市営住宅条例の一部を改正する条例制定について」等、建設常任委員会関連議案3件、「那覇市指定介護サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について」「那覇市子ども発達支援センター条例制定について」等、教育福祉常任委員会関連議案18件、「那覇市パレット市民劇場及び市民ギャラリーにおける指定管理者の指定について」等、厚生経済常任委員会関連議案2件、「那覇市緑化センター条例の一部を改正する

る条例制定について」等、予算決算常任委員会関連議案6件が、全会一致で可決及び同意されました。

次に、厚生経済常任委員会委員長から、委員会で賛成多数で同意された、「那覇市新文化芸術発信拠点施設建設工事(舞台照明)」及び「那覇市新文化芸術発信拠点施設建設工事(舞台音響)」の請負契約について、報告がありました。採決の結果、賛成多数で同意されました。

最後に、総務常任委員会委員長から、陳情第59号「普天間基地5年以内運用停止の遵守を求める議会議決の陳情」について、委員会審査の中間報告があり、それに對し、2人の議員から質疑がありました。また、同委員長から、当該陳情は、目下の事件につき、会議規則第111条の規定により、閉会中継続審査の申し出があり、採決の結果、全会一致で継続審査に付することに決定されました。

また、総務他3常任委員会委員長から、審査中の事件につき、閉会中継続審査の申し出があり、採決の結果、全会一致で継続審査に付することに決定されました。

なお、本定例会における、陳情案件の採択はありませんでした。

請願・陳情の内容を議会ホームページに掲載!

那覇市議会基本条例の趣旨に基づき、市民に対し積極的な情報公開を図り、市民が参画しやすい開かれた議会運営を行うため、平成30年12月定例会より各委員会で審査される請願・陳情の内容を議会ホームページに掲載しています。

子育て行政について
問①子ども医療費無償化を、今後何歳まで引き上げていくのか。
答 中学生までの年齢拡充について、現物給付



ニライ
翁長雄治

市長選の総括について
問①投票率48・19%という低さにもかかわらず3万7千票の大差で当選した勝因を伺う。
答 これまで、協働によ



ニライ
金城眞徳

12月7日及び10日の2日間、代表質問が行われました。今回は、8会派から15人の議員が会派を代表して質問を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載しています。詳細は、那覇市議会ホームページより、インターネット中継(録画中継)、又は、2月上旬掲載予定の会議録をご覧ください。

各会派の代表が市政をたずねる 代表質問

問②新聞報道にあった放課後児童クラブの防災対策の現状について。
答 本市の児童クラブの防災マニュアルの作成状況は、86クラブ中84クラブ、全体の97・7%が作成している。なお、

るまちづくりの理念のもと、風格ある県都・那覇市をさらなる高みへと導くため、全力で取り組んできた、1期4年間の実績を評価いただけたと思っている。

問②人材こそ全てに共通する財産であるとの思いと風格ある県都・那覇市をつくり上げていく2期目の抱負を伺う。
答 人との関わりという経験の蓄積から、人材こそ全てに共通する財産であるという強い思

未作成の2クラブについては、今年度中の作成に向け現在指導を行っているところである。

問④市長のこれからの市政運営の決意を伺う。
答 市民の皆様と心と心を紡ぎ、風格ある県都・那覇市を未来につなぐまちづくりに向けて、持てる力の全てを尽くす決意である。

水を抱いている。市民の皆様との信頼を深めながら「なはで暮らし、働き、育てよう!笑顔広がる元気なまちNAHA」の実現を共に目指していく。

問①更新時期で、まだ更新できていない水道管がどの程度あるのか。
答 平成29年度末で、管路全延長約829kmに對し、まだ更新できていない管路は約10kmで、法定耐用年数40年を超過した管路率は約1.2%。

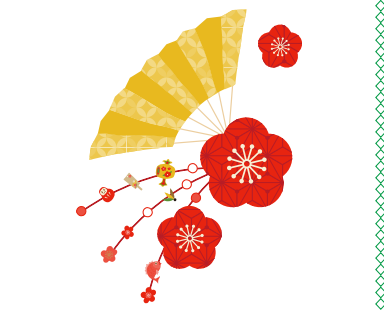
問②今後民営化をしていくつもりがあるのか。
答 第5次総合計画でも災害に強い水道施設を整備し、いつでも安心して、将来においても安定した水供給を目指しており、引き続き公営企業として水道事業を運営していきたいと考える。

水道行政について
問①更新時期で、まだ更新できていない水道管がどの程度あるのか。
答 平成29年度末で、管路全延長約829kmに對し、まだ更新できていない管路は約10kmで、法定耐用年数40年を超過した管路率は約1.2%。

問②今後民営化をしていくつもりがあるのか。
答 第5次総合計画でも災害に強い水道施設を整備し、いつでも安心して、将来においても安定した水供給を目指しており、引き続き公営企業として水道事業を運営していきたいと考える。

問③厳しい県政に取り組む玉城知事と、どのような連携をとって市政運営にあたるか伺う。
答 県都・那覇としてフロントランナーの役割を果たすことで玉城県政への支援にもつながるものと確信している。

問④市長のこれからの市政運営の決意を伺う。
答 市民の皆様と心と心を紡ぎ、風格ある県都・那覇市を未来につなぐまちづくりに向けて、持てる力の全てを尽くす決意である。



耐震型ダクタイル鉄管(屈曲・伸縮状況)



2期目の就任挨拶を行う城間市長

ニライ

平良 識子



LRT 等の導入

問市長公約「真和志地域の交通移動手段の利便性を高めるため、次世代型軌道系交通システム LRT 等の導入検討」について、どのように取り組むのか。

答ルートの検討、地域及び交通事業者の合意形成、車両基地の確保などの課題抽出を行い、実現に向けて取り組む。LRT 導入に伴う沿

ニライ

多和田 栄子



県民投票の意義

問沖縄の尊厳がかかっているとも言われている県民投票を実施する意義について、市長の見解を伺う。

答この県民投票条例は、地方自治法第 74 条に基づき、住民により発案されたもので、住民がその意思決定過程に直

建設常任委員会で視察した宇都宮市の LRT イメージ図【出典：宇都宮市】



特に、第一牧志公設市場に隣接するアーケードは、再整備事業に関連し、限られた期間で対策を講じる必要がある、関係部局にはしっかりと対応するよう指示している。



平成 30 年 4 月に開園した「きららうえばる保育園」

事業では、新たに 44 人が就職している。

問②教育や保育の質をどのように確保しているのか伺う。

答指導監査などにより、質の確保に取り組んでいる。さらに、保育現

日本共産党

我如古 一郎



政治姿勢について

問圧勝した選挙結果と 2 期目の市政運営の決意を伺う。

答市長選挙の結果については、多くの市民に 1 期 4 年間の私(市長)の市政運営の実績を評価いただいた。新基地反対の玉城知事を支え、32 万市民全てに寄り添う優しい市政運営を心がけ、協働によるまちづくりを通して、市民のきずなを縦横無尽に紡いでいきたい。

県知事選について

問玉城デニー氏の歴史的勝利は、「辺野古新基地ノー」が沖縄県民の揺るがぬ意思であることとを改めて明瞭に示した。見解を伺う。

答沖縄の新基地建設では、民意による地方自治のあり方、この国の民主主義のあり方が根幹から問われている。場への支援及び指導・助言や、認可外を含めた研修の充実を図ることが必要と認識しており、平成 31 年 4 月より「新たな課」の設置を予定。

地方自治における自己決定権が尊重され、明確に示された民意が踏みにじられることがないよう声を上げていかなければならない。

普天間基地の運用停止

問県議会は 2017 年に米軍普天間飛行場の運用停止の実現を求める意見書を全会一致で決議した。安倍自公政権は、「ハナシクワッチー」ではなく、来年 2 月の 5 年以内の運用停止の期限を守るべきである。見解を伺う。

答普天間飛行場の 5 年以内の運用停止は、政府と県との約束であり、速やかにあらゆる方策により全力を挙げて取り組みべきものである。

県民投票について

問県民投票が 2 月 24 日投票で実施される。見解を伺う。

答県民投票は、「辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う」県民投票条例に基づき実施される。普天間飛行場の代替施設として、国が辺野古に計画している米軍基地建設のための埋立に対し、県民の意思を的確に反映させることは大変意義あるものと考えている。

消防行政について

問城間市長の公約で、「消防職員を増加し救急消防隊を増隊します」とある。消防局職員の充足率 100% を目指す消防力整備計画をつく

るべきである。

答消防職員の増員は、早急に取り組むべき課題である。計画的に増員ができるよう、関係部局間で調整を進めている。

国保行政について

問前期高齢者財政調整制度の欠陥によって生じた赤字解消のために、2008 年度から 2017 年度の 10 年間に本市が負担してきた 16 億円を取り戻せば、国保税の引き下げや市民の福祉に使える。引き続き、市長会や、国保連合会として国へ財政支援の要請をすべきではないか。

答前期高齢者財政調整制度問題で、県国保連合会など県内 6 団体で過去 10 回、国等へ財政支援の要請を行ってきた。今年も、12 月 18 日に要請を行う。

日本共産党

前田 千尋



子ども医療費無償化の拡充について

問城間市長は選挙公約で「窓口負担のない現物給付方式による子ども医療費の無償化を中学 3 年生まで拡充する」と謳っている。実現に向けた決意を伺う。

答私(市長)の 2 期目の任期中には実現したい。

那覇市子ども発達支援センターについて

問①目的と意義。

答現在の療育センターが、こども発達支援センターに移行する。国の定めた児童発達支援センターガイドラインに基づき、保育所などへの「地域支援」を充実させる。専門職員を含めた体制強化を検討。

請願・陳情の提出について

どなたでも、市政についての要望等を請願・陳情として市議会に提出することができます。

詳しくは、本市議会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

TEL (098) 862-8153
FAX (098) 862-8296



請願・陳情ウェブページ
QRコード



こども発達支援センターに移行する療育センター

問②移転計画について

答新真和志支所を含む複合施設内に移転予定。候補は現市民会館跡地。

認定こども園の充実

問①役割について。

答保護者の就労状況に関係なく、子を受け入れることが可能な施設。

問②3 歳児受け入れを拡充すべき。

答来年 4 月に 10 園で実施予定。受け入れ枠の拡充を検討する。

放課後児童クラブ

問待機児童解消の新たな計画を作るべき。

答ニーズ調査を行い、新たな計画を策定予定。

自民党

大嶺 亮二



市長の政治姿勢について

問① 中心商店街の老朽化したアーケード整備の費用を一部補助する場合、財源はどうするのか。

答 アーケード整備等を含め改善に向けた取り組みへの意義を踏まえ、予算等を確保できるよう努めたい。

問② 普天間基地を辺野古に移設することは新

自民党

大山 孝夫



フッ化物洗口について

問① 那覇市立小中学校児童生徒の口腔崩壊（虫歯10本以上）の人数について。

答 平成30年度の虫歯の処置済み、未処置の歯を合わせて10本以上ある児童生徒の数は、合計で494人となっている。どのような形で

基地建設と新聞報道や某政党、某会派から聞こえてくるが、那覇軍港が浦添市に移設されるのは新基地建設とは言わないのか。

答 那覇軍港は浦添市長が受け入れを表明している。規模についても現在の那覇軍港よりも小さくなるということがある。那覇軍港移設については新基地だという認識はない。

問③ 奥武山陸上競技場をこれまで利用してきた市民の皆様への配慮として、代替的な施設もしくは今後の対応を伺う。

答 スポーツ大会やイベントは沖縄セルラーパーク那覇や、公園広場等の活用が図れるもの

と考えている。陸上競技の練習場所としては、学校開放による小中学校運動場の活用や、近隣市町村の陸上競技場を利用することも可能かと考えている。

こういった子どもたちを少なくしていくのか、行政にもやるべきことがあると考える。

問② 市立小中学校においてフッ化物洗口を全学校で実施するのか。

答 全校実施を目標にこれから取り組んでいきたい。児童生徒の虫歯と健康管理の部分で、教育委員会としてもかわる必要があると考えている。

拉致被害者問題について

問 那覇市における「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」の取り組みについて。

答 今年度から北朝鮮人



現在の奥武山陸上競技場

自民党

吉嶺 努



県民投票の意義について

問 県民投票が持つ、普天間飛行場の固定化につながる、宜野湾市民の生命の危険が続く恐れがあるという負の側面をどう考えているのか。

答 民主的に制定された条例のもとで実施される県民投票については、大変意義あるものと考えている。

権侵害問題啓発週間に合わせた取り組みとして、誰もが北朝鮮による拉致被害者の生存と救出を信じる意思表示とする青いリボンの趣旨に賛同していただけるよう、市職員等への働きかけを行っている。平成31年3月下旬に「拉致問題を考える国民の集いin沖縄」を内閣官房拉致問題対策本部、沖縄県、那覇市などの共同で開催予定。



フッ化物洗口導入前後の永久歯の虫歯の度合いを表す数値

2月定例会は
2月12日(火)に開会予定です。

那覇市長選挙公約について

問 救急隊は10隊必要だが、今年度1隊の増隊にとどまり、消防職員は増やすけれども、公約の通りには増えないという理解でよろしいか。

答 市長任期中に増隊に向けて道筋をつけていきたいと、そういう意味での発言、公約である。

防災行政に関すること

問 沖縄県消防防災ヘリコプター導入について。

答 これまでに県から2回の市町村説明会があり、本市としては、安全な運航体制、機体選定、職員派遣及び費用負担などの課題について意見交換を行いながら、離島を含めた県全体の防災体制が強化されるよう、県及び他市町村と連携し、消防防災ヘリコプター導入の課題解決について調整していきたい。

公明党

糸数 昌洋



県民投票について

問① 県民投票の目的と意義を問う。

答 平成31年2月24日に投票される県民投票は、辺野古米軍基地建

公明党

桑江 豊



市長選時の、違法ポスターについて

問 告示後、公共物等へ掲示したことに対する市長の見解、市民への説明責任について。

答 私(市長)に関する掲示物が違法に掲示されたことは、誠に申し訳なく、市民の皆様におわび申し上げる。条例違反の場合、厳正に対処するよう職員に指示してきた。

今後は、関係団体等に対し、法令等を順守するよう、これまで以上に強く要望していく。城間市政2期目の公約

公明党

について

問① 観光バス待機場の整備について。

答 この度、明治橋駐車場の一部につき、土地所有者の那覇港管理組合と協議がまとまった。来年度早期に供用開始できるよう努める。

問② 取っ手付きごみ袋の全種類拡充について。

答 使用頻度やごみ袋販売実績等から燃やすごみの(大)と(小)について拡充を検討している。時期については、販売の推移、製造能力、他市町村の動向等、総合的に検討していきたい。

学校施設のブロック塀対策事業について

問① 12月補正の概要、9月補正との違いは。答 国において、臨時特例交付金が今年度限りで新設され、当該交付金を活用し、隣地沿いのブロック塀撤去等に取り組みものである。9月補正予算で計上した道路沿いのブロック塀撤去についても、当該財源を活用する。

問② どのようなスケジュールで、いつまでに完了するのか。

答 危険性の高い道路沿いのブロック塀から優先的に撤去を行い、フエンス等の設置を行う。来年度末には完了予定。



那覇市指定ごみ袋の取っ手付き

設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例に基づき実施される。

県民投票の実施により、普天間飛行場の代替施設として国が辺野古に計画している米軍基地建設の埋立てに絞って、那覇市民においても賛否を示すことは意義あるものと考えている。

問② 辺野古の賛否を問う前に、県民投票そのものの賛否が各自自治体で議論されている。実施そのものが危ぶまれ

第21回協議会において、

サッカー競技場の奥武山公園の整備について要望したが、その後開催されていない。国からは開催されない理由について特に示されていない。

問②協議会を早めに再開すべきではないか。

答県都那覇の振興に関する問題は多くの課題があり、解決のためにも的を絞って協議会に向けて尽力したい。

防災行政について

問業務継続計画（BCP）の年度内策定に向けた進捗を問う。

答本年度は素案を策定し、次年度、那覇市防

なは立志会

上里直司



スタディクーポンについて

問放課後の格差を解消する支援、いわゆるスタディクーポン発給について、他の地域で先行的に取り組んでいるところがある。本市の研究の成果を伺う。

答子ども貧困対策のプロジェクトのための市内の推進会議の中で教育のバウチャーの話等を説明申し上げて、全課で共通理解を図った。

災害対策推進会議で審議する予定である。



対岸からみた那覇軍港

中城御殿跡地整備計画の進捗と市のかかわり

問中城御殿跡地は、発掘調査終了後、何の事業計画もない。首里城の龍潭前にある広大な土地が、何も使われない状況が生まれる。景観にとっても懸念が生じ、那覇市の観光イメージにもかかわる。都市計画を進める中で、首里のまちづくりを進める中で、こういう状態は望ましいのか。

答そのまま空き地の状態で置くことは望ましい状態ではないと考え

伝統工芸産業・観光振興と文化財の活用

問県住宅供給公社当蔵市街地住宅の跡地利用について、隣接地で整備が進められている伊

維新・無所属の会

新崎進也



こども医療について

問フッ化物洗口（フッ素うがい）の小中学校の取り組みと予算を伺う。

答現在、天妃小学校 1 江殿内庭園が活用でき

答平成 30 年 7 月、琉球びんがた事業協同組合と那覇伝統織物事業協同組合から、拠点施設整備のため、当該土地の取得の要請がなされ

た。拠点整備は伝統工芸産業の振興や観光振興、ひいては地域の活性化に資すると考えて

いる。伊江殿内庭園と連動した利活用など、地域の皆様、関係者の皆様と意見交換をしながら進めてまいりたい

首里城へのアクセス

問首里城へのアクセスの課題を伺う。

答本市は、地域住民と地域課題について勉強会や意見交換を行ってきており、地域住民や関係機関との連絡調整会議の設置に向け準備を進めている。今後、連絡調整会議において、

校でフッ化物洗口を実施している。関係部局と学校訪問を行うなど

連携を図り、学校における安全性の確保、保護者の理解、歯科医師会等専門機関の協力を得るなど、条件整備を進め、全小中学校での実施を目標に取り組み

たい。1 人当たりの費用は、1 回当たり約 4 円で、1 週間に 1 回実施で月 16 円となり、年間では長期休暇を除く 10 カ月間実施すると 1

対策について地域住民や関係機関と調整を行ってまいりたい。連絡協議会は、地元自治会などの関係団体が入って結成する予定で、できれば年度内には結成したい。



中城御殿跡地の石垣

60 円となる。

動物愛護行政について

問犬猫殺処分ゼロに向けた那覇市の取り組み状況を伺う。

答人と動物が共生する社会の実現を目指し、なは動物愛護フェスタの開催や動物愛護団体等との連携、さまざまな機会によるパネル展の実施や適正飼養、終生飼養、繁殖制限を柱とする動物愛護管理思想の普及啓発に努めている。これらの取り組みを継続し、犬猫の収

容数のさらなる減少に努めたい。



なは動物愛護フェスタの様子 (11 月 11 日)

無所属の会

中村圭介



市長の政治姿勢を問う

問①協働によるまちづくりについて引き続き力を入れていく点、改善する点について。

答まちづくりの主体・担い手はほかならぬ市民である。本市には、多くの個人・団体が精力的に地域活動をされ、まちづくりに取り組んでいる。一緒に那覇のまちづくりをするために、汗をかかせていただきたいという思いを強くしている。

職員に対しても、協働によるまちづくりを

なはのみらい

坂井浩二



那覇市活性化の起爆剤となる奥武山ビレッジ構想を提唱する

問①奥武山公園内の温泉及び天然ガスは、非常に貴重な資源財産であり、癒やしの観点からもスポーツ観光に大きく寄与すると捉えている。スタジアム建設で複合施設併設の話があるが、温泉利活用等、奥武山全体の総合的な活用策を考えるべきである。見解を伺う。

答Ｊリーグ規格スタジアム整備基本計画では、スタジアムの魅力を高める観点から、施設の複合機能について検討がなされ、温泉利活用型運動施設が 1 例として挙げられているので、温泉等の有効活用についても具体的に検討さ

地域への負担を軽減することが、引き続き改善すべき点であると認識している。

問②市民との対話について。

答市民との対話はできるだけこれから進め、機会を増やしていきたい。



スポーツツーリズムの拠点として期待される奥武山公園

れると考えている。

問②「観る」「参加する」「癒す」「支える」のキーワードを基軸に、奥武山公園がスポーツツーリズムのメッカになり得ると考えるが、市長の見解を伺う。

答奥武山公園はスポーツツーリズムの聖地としてのポテンシャルが非常に高いものであると捉えており、本市はもとより県全体の観光振興、地域振興に寄与すると認識している。

議会傍聴の方の本庁駐車場料金については、1 時間を超える分は割引券を発行いたします。
※詳しくは、議会事務局 (4 階) 受付に申し出てください。
TEL (098) 862-8108
FAX (098) 862-8296

ここが聞きたい！
一般質問



西中間久枝
(日本共産党)

障害者権利条約にもとづく常勤採用を

問 政府は 2018 年 10 月政府機関における障がい者の常勤採用の枠組みの導入を決定。那覇市の見解を問う。

答 国や自治体の取組を参考に調査研究する。

空家等対策について

問 首里山川町の石積みが危険な空家について。答 9 月に現場確認。空家特措法に基づき 10 月に所有者に文書を送付。11 月には関係者が来庁



上原 仙子
(なはの
みらい)

歯科口腔保健について

問 ① 要受診と診断されながら、未受診である児童生徒の本市の現状。答 むし歯のある児童生徒のうち未処置の歯のある児童生徒の割合は、71・5%となっている。問 ② 本市のフッ化物洗口の実施状況について。答 小中学校においては、小学校 1 校で 451 人中 412 人が実施。条件整備を進めながら全小中学校での実施を目標に取り組みたい。

された。

道路行政について

問 松川の寒川橋(スंगाーバシ)の整備について。答 高欄の隙間が大きく、子どもたちが転落する恐れがある危険な部分は、修繕を完了した。

都市計画行政について

問 首里山川町にある自動車整備工場への対応について。答 現場を確認した。建築基準法に基づく違反は正指導を受け、事業者から工場の移転を前提とした是正計画書が提出された。是正計画を履行するように引き続き指導する。

答 現場を確認した。建築基準法に基づく違反は正指導を受け、事業者から工場の移転を前

提とした是正計画書が提出された。是正計画を履行するように引き続き指導する。

問 ③ いつまでという目標を設定し、しっかりと対応すべきである。どのくらいの期間で達成したいと考えているのか伺う。答 年次的に増やしていきたいと考えている。

市民会館について

問 市民会館を利用できないために生じている不便、負担の軽減や、文化芸術に触れるという観点から、これからの 3 年間、何らかの予算措置や対策を行っているかどうか。答 検討していきたいと考えている。

12 月 11 日から 14 日までの 4 日間、一般質問が行われました。今回は、33 人の議員が質問を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載しています。



野原 嘉孝
(公明党)

市営住宅空き駐車場の活用を

問 ① 高齢化により車を利用しない世帯が増えている。空き駐車場を住民以外にも貸し出しはどうか。答 自治会から要望があれば来客用や 2 台目以降の使用を許可している。駐車場の整備には補助金が活用されているため入居者以外の貸し出しは目的外使用となるため原則できない。問 ② 規定によると国の

承諾があればできるのではないかと。財産活用の観点からも未使用区画を活用すべきでは。答 入居者以外への貸し出し駐車場も含め、どのような有効活用ができるかを研究し、県や国と協議していきたい。

街路樹の適正管理を

問 市道真嘉比山川線の街路樹は根暴れ等による排水溝への影響や落葉の多さで沿路住民から頻繁に苦情があるが。答 当該並木は本市の都市景観資源に指定されており市民からの声については率先して速やかに対応していきたい。



下地 敏男
(ニライ)

水産行政について

問 漁業法改正の懸念、問題点について当局の見解を伺う。答 今後、資源管理が強化され、本市の主要水揚げ魚種であるメバチマグロ等にまで漁獲量の制限対象が拡大された場合には、少なからず影響が予想される。今後とも状況を注視し、関係者と情報共有をしながら対応したい。

危険な擁壁の対応について

問 市道真地 7 号沿いの民間石積みの擁壁に亀裂が入り危険な状況。当局の対応を伺う。答 その土地所有者に対して点検を実施するなど、安全上の措置を講じるよう協議、指導しているところである。問 ② 自動車の専用道路の整備を初め、自転車乗車時のヘルメット着用等、安全利用に関する条例整備や自転車活用に関する推進計画を策定すべき。見解を伺う。答 本市では、平成 30 年 3 月に、那覇市自転車ネットワーク計画(基本計画編)を策定している。今後、整備優先路線の整備を進め、ネットワークを構築していく。なお、新たに都



上原 安夫
(日本共産党)

真和志支所の建て替えについて

問 「新真和志支所を含む複合施設を建設します」という期間市長の公約実現にむけて問う。答 現市民会館敷地に真和志支所、中央公民館・図書館、療育センター及び障がい者福祉センター等、福祉・教育関連施設、地域コミュニティホール等、22 の施設機能を設置、基本構想の策定に向けて着実に進めていく。

新たな交通システム LRT の導入について

問 真和志地域の交通利便性を高める LRT 導入可能性調査を問う。答 優先度の高い複数の軸から 3 つのルートを設定、いずれのルートも真和志地域を經由し、真和志地域がこれまで以上に住み続けた、魅力的な地域になる。LRT 実現に向けて取り組んでいく。

生活保護制度について

問 ホームページに憲法 25 条を明記すべき。答 本市のホームページに整備を図っていく。



仲松 寛
(なは立志会)

自転車を活用したまちづくりについて

問 ① 自転車先進国ヨーロッパの取り組みを手本として車道路肩側を自転車専用道路(自転車レーン)として整備すべき。見解を伺う。答 本市では、平成 30 年 3 月に、那覇市自転車ネットワーク計画(基本計画編)を策定している。今後、整備優先路線の整備を進め、ネットワークを構築していく。なお、新たに都

市計画決定した都市計画道路城東線や古波蔵上線、真和志線においては自転車道等の整備を盛り込んでいる。問 ② 自動車の専用道路の整備を初め、自転車乗車時のヘルメット着用等、安全利用に関する条例整備や自転車活用に関する推進計画を策定すべき。見解を伺う。答 国や県の自転車活用推進計画との整合性を図りながら、自転車活用推進計画を策定する予定としている。なお、自転車の安全利用に関する条例整備についても、検討していきたい。

水産行政について

問 「泊市場及び周辺地域」再整備に向けての取り組みと課題を伺う。答 県は、「泊漁港の再整備について、できる限り支援をしていきたい」。また、泊の生産者は、泊漁港での新たな荷捌施設建設に向け、調査及び施設規模等の検討を始めており、本市では活用可能な補助制度の調査検討、泊漁港再整備に向けて、取り組みを進めている。



大山 孝夫
(自民党)

危機管理態勢について

問 ① 那覇市防災対策検討女性チームの概要。答 市職員 8 人の任命に加え那覇市消防団から 2 人の団員を委嘱するなど新たにチーム員を編成し、女性のきめ細やかな視点等から防災対策の課題等を調査研究する取り組みを開始。問 ② 那覇市地域防災計画の見直し状況。答 避難所に指定されている市管理の公園は 28 公園あり、その中で段

差の解消に必要な公園は弁ヶ岳公園で、今後文化財課と協議しながら段差解消に努める。問 ③ 那覇市国民保護計画の見直し状況。答 平成 31 年 1 月には、本市では初めてとなる国、県、自衛隊、警察と合同した国民保護にかかわる実働、図上訓練を実施する予定。

問 ④ 那覇市として地域防災マネージャー制度の活用について。答 将来的には市長直属の防災危機管理監などという位置づけをするなど、積極的に取り組んでまいりたい。



宮里 昇
(日本共産党)

津波緊急避難施設は

問 曙地域の津波対策について伺う。答 本市が曙地域において津波襲来時に緊急一時的に避難する津波緊急一時避難施設として指定している施設は 8 施設で、収容可能人数は 1 万 3 756 人。安謝里道整備来年から問 安謝里道の生活道路整備計画について伺う。答 里道整備事業の一環として、整備工事を実施している。安謝公民館北側地域の里道は、今年度、設計業務を行って、次年度から順次、整備工事を実施する。

那覇市議会ホームページの議会インターネット中継では、開催中の本会議と予算決算常任委員会がご覧になれます。また、過去に開催された会議も録画でご覧になれます。
インターネット中継 → <http://www.naha-city.stream.jit.co.jp/>



新垣 淑豊
(自民党)

国際通りの美化・治安について

問 ①国際通りで不法に投棄されるゴミが増えている他、犯罪抑止のための防犯カメラ設置が求められているが、現在の状況を伺う。

答 那覇市防犯カメラの設置及び運用に関する条例案を策定し、現在パブリックコメントを実施中。早ければ来る2月議会へ上程し4月に施行予定である。

いる大型看板等の広告物への対応を伺う。
答 屋外広告物条例の周知活動と指導、めんそーれ那覇市観光振興条例に基づく迷惑行為等防止是正指導員の巡回指導を行っている。
問 ③商店街も取り組みを必死にやっているが、手に負えない状況である。県道なので県との連携の現状を伺う。
答 現在、県、市、警察等行政・民間合わせて22の機関で協議会を組織している。今後、取り組みを強化していかなければならないと話している。



奥間 亮
(自民党)

学校施設の整備推進を

問 小中学校の和式トイレの洋式化、小学校遊具の改修事業、小緑小学校の屋外倉庫建設、小緑小学校の放課後児童クラブ園舎の整備、小中学校体育館の照明整備、そして宇栄原小学校のプールの老朽化の改修、こういった事業は一日でも早く前倒しをして、もっと予算を増額して頂きたい。
答 財源にも限りがありここに投じる補助金等



上里 直司
(なは立志会)

首里城・鑑池の県移管

問 県への移管の進捗について伺う。
答 これまで県関係部局と、移管に関する条件等の課題について3回協議を重ねている。国指定文化財であるので、国との調整を含め、具体的取り決めができるよう協議を進めたい。

県庁前駅から琉銀本店側への自由通路の設置
問 ピーク時の県庁前駅は、ホームがあふれるぐらいの利用者だが、



大城 幼子
(公明党)

住宅用火災警報器の普及について

問 ①県内の設置状況と那覇市全体に対する普及率について。
答 県の設置率が58%、本市の設置率が49%。
問 ②普及促進についての現在の取り組み状況。
答 住宅への個別訪問、各自治会へ安価で購入できる共同購入への呼びかけや火災予防講話の実施、関係部局及び建物の管理者や大規模な事業所へ職員・関

延伸や、琉球銀行本店建替え及び周辺の高度利用化で、乗降客数が増えることを見越し自由通路を設置すべきである。見解を伺う。

答 駅舎から琉球銀行本店側への自由通路の設置等は、にぎわいにつながり、モノレールの利用促進にもなる。課題を整理する必要がある。

野球資料館について
問 観光資源、学習の機会として活用すべき。
答 名誉市民、プロ野球活躍者の展示等常設資料も見てもらえるようしっかりと広報したい。

係者・利用者への広報協力依頼、各種イベント等での広報を行っている。

那覇市上之屋北公園そばの緑地について

問 地域住民から、以前は道路沿いに花壇が整備されるなど行き届いていたが、最近樹々が繁茂し家電の不法投棄なども見られ見苦しいという声がある。
答 現場を確認したところ、雑草や樹木が繁茂し、不法投棄された冷蔵庫等があった。除草剪定作業を行い、不法投棄対策の看板を設置するなど対応する。

沖縄ケーブルネットワーク(OCN)のテレビで議会中継を行っています。
【生中継】091ch



前泊 美紀
(無所属の会)

人材育成施設に地域の思い反映を

問 那覇市真和志南地区活き活き人材育成支援施設(仮称)整備の今後のスケジュールと運営方針を問う。
答 また、文化行政施設の空白地である仲井真地域に公共施設をと、長年地域づくりに取り組み、市へ様々な提案をしてきた地域の思いをどう反映していくか。

答 本施設は、観光分野等で活躍できる人材の育成を図るとともに、地域づくりやまちづくり、地域住民と外国人との交流を支援する施設として、沖縄振興特別推進交付金を活用し、平成30年10月から建築工事に着手しており、平成31年10月頃に工事を完了し、平成32年4月からの供用開始を予定している。



宮平のり子
(二ノライ)

市長の政治姿勢

問 辺野古新基地建設は、埋立、地盤改良、施設整備に13年を要し、「一日も早い普天間の危険除去」にほど遠い。県民の反対も実力で排除し、民主主義を破壊し、生物多様性の宝庫である海を破壊している。見解を伺う。

答 玉城知事が「反対する民意が繰り返して示される中、違法に土砂の投入を行うことは、断じて許されるものではない」。



津川 朝渉
(日本共産党)

城間市長の選挙公約

問 市内36の全小中学校にまちづくり協議会を設置するために、事務局体制を充実すべき。
答 所管する課は、今年度2人増員し、31年度も更に2人を増員する。

交通行政について
問 ①自転車ネットワークを整備すべき。
答 モノレール駅交通広場や駅周辺の歩道上での駐輪スペースの確保を検討。商業施設等の駐輪場の確保を促す。



大浜 安史
(公明党)

小中学校ICT教育環境整備について

問 9月定例会にて、電子黒板・タブレットの補正予算が承認された。その後の取り組みについて伺う。
答 一括交付金を活用して整備する計画であり、国の承認後、年度内に整備が完了予定である。

保安灯の十分な設置を
問 保安灯の設置状況と予算等について伺う。
答 設置等補助は、平成28年度96団体・304灯、



問 ②市長公約のバイクシェア導入への支援。
答 モノレール駅等や観光地への駐輪スペースの設置要望があり、可能性を検討する。

公園行政について
問 ①那覇市の1人当たりの公園面積は幾らか。
答 那覇市は5.67㎡。全国平均は10.4㎡。沖縄県平均は10.9㎡。
問 ②私有地を買い取り、公園を拡張整備すべき。
答 条件の整理が必要。

那覇空港南側船揚場
問 今後のスケジュール。
答 来年7月迄に設計業務を完了し、係留施設の建設工事に着手する。

平成29年度は98団体・304灯へ補助金交付。電気料補助は、平成28年度は195団体・5369灯、平成29年度は202団体・5503灯に補助金交付。予算は、平成28、29年度は約2900万円。
首里北地域に公園を
問 大名児童館空き地に公園を設置できないか。
答 ファシリテイマネジメントの考え方、補助金活用の可否、都市計画の観点からの必要性や大名児童館の今後の利活用を踏まえ、整備の可能性について調査・研究していきたい。

なは市議会だよりに関するお問い合わせは議会事務局調査法制課まで
TEL(098)862-8194
FAX(098)862-8296



喜舎場盛三
(公明党)

セカンドブツ事業
園子どもの読書習慣づくりのきっかけをつくるため、絵本をプレゼントするセカンドブツ事業を実施する自治体が増えており、本市も検討できないか伺う。



永山盛太郎
(ニライ)

城間市長2期目の市政運営について

園市長を支える気持ちと、両副市長に伺う。

答市長の支え役として、市長が掲げてきた政策を確実に進めていくことが大事。市民の旺盛な需要に対しても、限



前田千尋
(日本共産党)

妊産婦健診の充実

園妊婦健診拡充と共に、産後健診の重要性や経済的負担軽減のため公費負担での実施を求めた。実現について。

答産後は誰もが心身の不調をきたしやすく、十分な育児支援が得られない場合はうつ状態

赤ちゃんが成長し、幼児期や児童期に入る頃に本を贈る事業である。家庭での読書環境の継続と充実を図るための事業であり、県外の自治体ではセカンドブツ事業が広がりつつあると認識をしている。

通学路の安全対策

園寄宮1丁目の「タウンプラザかねひで」近くの通学路の交差点の

安全対策について取り組みを伺う。

答交差点部や路肩の色等について検討している。また、地域のスクールゾーン委員会や本市からの要請などを

受け、歩行者が安全に待機できる2カ所の横断歩道については、公安委員会の管理する横断歩道として認定され、今後適正に管理することである。

が、厳しい場面も出てくると思う。その中で腰を据えて臨む部分と、時代の変化に機敏に対応しなければならぬ部分、先読みをしないといけない部分が出てくる。職員にも情報共有しながら、この組織の力を最大限に発揮させていくのが、我々2人に与えられた使命。肝に据えながら、しっかりと支えていきたい。

増すと期待されている。答供用開始は来年11月予定。しっかりと進める。第一牧志公設市場再整備事業について

園公設市場トイレの役割と移転後について。答市場来訪者や観光客も利用する公衆トイレ。維持管理は市が負担。今後も車いすが利用できるよう1階に設置。



上原快佐
(ニライ)

グローバル人材の育成について

園市長任期中に姉妹都市であるハワイのホノルル市に行き、さまざまな人材育成に関するトップセールスをされ

てはどうか。



坂井浩一
(なはの
みらい)

安岡中学校内への地域連携室の設置を

園去る12月7日に「安岡中学校体育館等建設事業説明会」が開催された。学校長をはじめ、学校関係者及び地域自治会長等多くの地域保護者から出された要望



當間安則
(維新・無所属の会)

貸切バス乗降場・待機場整備事業について

園①目的を伺う。答農連プラザに隣接する県有地に貸切バス乗降場を整備することにより、国際通り周辺等における迷惑駐車防止とを主たる目的として

実施するものである。園②土地所有者である県との調整状況を伺う。

答平成35年3月31日ま

ちづくりにおいては、那覇の未来を支える多様な人材が必要であると認識している。国際的にも活躍できる人材の育成については幅広い視点に立って本市として何ができるかを考えて行動していきたい。

水道行政について

園県として有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の水質基準を

についての見解を伺う。答「PTA活動や地域活動のためのスペース整備」について、強い要望をいただいている。既存施設のスペースを有効活用し、学校関係者などが、多目的に利用できるように、前向きに検討したい。

教師の負担軽減のための校務支援員システム導入について

での土地の無償賃借及び県と市の役割等を定めた貸切バス乗降場実施事業に関する合意書の締結を、去る11月に交わしたところである。

園③今後の見解を伺う。答設計業務、舗装及び機械設置工事と整備を進め供用開始は平成31年11月を予定している。

市道歩道上の視覚障がい者誘導用ブロック

園安次嶺交差点からモノレール沿線までの赤嶺2号、そして産業支援センターからモノレール沿線までの田原11

設定していないのとことだが国内ではどうか。

答厚生労働省は、浄水施設において有機フッ素化合物等による給水への影響を軽減するよう、県企業局において、米国環境保護局の生涯健康勧告値1リットル当たり70ナノグラム以下を浄水場の目標値として設定し、水質の管理を行っている。

園浦添市でも導入され、現場の負担を軽減しているシステムだと聞いているので、那覇市でもしっかりと導入していただくよう提言する。システムについて伺う。

答指導要録の作成、定期テストの成績処理、通知表、高校入試等の帳簿作成等、基本的データシステムを効率的に校務処理を行うためのシステムである。

号、この2路線5カ所の途切れについて。答早急に現場を確認して速やかに対応したい。

教員の多忙化問題

園①教職員定数の拡充、各種支援員や加配教員等の人的支援拡充のための予算措置と今後の見通しを伺う。

答園や県に教職員の拡



我如古一郎
(日本共産党)

世界遺産識名園に土産物の施設整備をすべき

園駐車場の敷地を活用した土産物店などが入居できる施設を公的に整備すべきである。答提案の意義は十分理解しており、識名園を観光地としての発展や経済振興の観点、土産物を整備することに

については、「パークPFI」などの手法を活用し、整備できないか調査研究していく。

子どもの口腔崩壊と貧

充を要請していく。今後も各所属と連携を図り、各種支援員配置のための予算確保に努める。

園②本市小中学校の教員の精神的疾患による長期休業者数と復職に向けた施策を伺う。

答平成29年度の精神的疾患による休職者数は36人で、教職員の約25%である。円滑な職場に復帰と再発防止を目的に実施される復職支援プログラムや産業医による健康相談などを行っている。

障がい児通所支援

園国が放課後等デイサービス報酬を引き下げたが、事業所への財政的フォローや本市独自の施策を伺う。答減額となる事業所へ

困との関連について

園口腔崩壊は貧困に根差すもの。保護者だけではなく、社会的な格差と貧困がある。学校や教育委員会、こどもみらい部など役所を挙げての対策が必要。こども医療費無償化の中学卒業までの拡大は、子どもの口腔崩壊改善に寄与する。

答こども医療費の無償化の拡大が実現すると早期受診で、口腔崩壊の改善に効果が見込まれると考える。中学生までの通院費の年齢拡充の実現に向けて検討していく。

の市独自の支援策等はないが、今後、報酬改定等の趣旨を踏まえ課題を整理したい。

仲井真小学校前、歩道の老朽化について

園①地域の皆様から早急な対応を望むとの要請を受けたが、当局の認識とこれまでの対応を伺う。



大嶺亮一
(自民党)

答市民から補修してほしい旨の電子相談があり、所管する県南部土木事務所へ申し送りを

行い、応急的であるが県において対策を講じてきた。

園②今後の対応を伺う。答県南部土木事務所に

那覇市議会の活動をホームページで公開しよう。

アクセス方法 「那覇市議会」で検索 ホームページ <http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>

よると、次年度以降に予算確保でき次第対応していきたいとのこと。
現在建設中の真和志南地区活き活き人材育成支援施設(仮称)と仲井真小学校の間にあるブロック塀について
倒壊などの危険がないか。



中村圭介
(無所属の会)

子どもの権利について
関人権教育における、子どもの権利について、学校でしっかり周知すべき。見解を問う。

子どもたちの権利について
答子どもたちの権利について学ぶことは大切だと考えている。教育委員会としては、校長連絡協議会などを通して学校へしっかりと周知したい。

ホスピタルアート活用
関市立病院でのホスピタルアートの活用について見解を問う。



糸数昌洋
(公明党)

公園行政について
関①漫湖公園など毎年夏場になると雑草が生い茂りハブ注意となる。雑草の除去と安全という公園の最低限の維持管理について、公園の数も面積も増えているが予算措置は十分か。
答公園の維持管理はシ

答設置から35年以上経過している可能性があるので、早急に撤去することが望ましい。隣地境界沿いのブロック塀対策については、本定例会において補正予算を計上しており、当該ブロック塀についても対応したい。

答那覇市立病院のホスピタルアートに対する取り組みとしては、1階ロビーでのコンサートなどのほか、十数点の絵画作品をかけ替えながら展示している。また、2012年より県立芸術大学絵画専攻の学生が作品を展示するプロジェクトを継続していただいている。

ホスピタルアートは、アート作品の展示等を通じて患者の療養環境の向上を目指す観点からも必要と考えており、病院の建て替え後も活用していく方向であるとのことである。

ルバー人材センターで行っているが管理が行き届いていない部分もある。ボランティア等の力を借り、限られた予算の中で努力している。
関②業務体制と業務効率の課題は何か。
答13人体制で漫湖公園ほか大きな5公園の除草を行っているが草木の生長等に対応できていないのが実情。定例



吉嶺努
(自民党)

市長公約について
関事業者の雇用者スキルアップ研修等への助成制度とはどのようなものが、いつから開始になる予定か。

答企業が行う従業員のスキルアップに必要となる経費の一部を補助し企業の人材育成への取り組みを促進する事業の次年度実施を検討。関市内でアシスト収集



久高友弘
(自民党)

御茶屋御殿の早期復元
関①議会在、国の責任で御茶屋御殿の早期復元を求める意見書を全会一致で議決して12年復元への行動を伺う。
答国、県、市のワーキンググループを設置し18回会議した。事業手法や事業主体が決まら

る。的な業務の効率化は対応できていないと感じている。
関③市長公約の「公園PFIを活用した民間活力による整備」の内容容について問う。
答漫湖公園や新都心公園などのジョギング環境のため、民間活力によるジョギングコースなど整備を推進する。

を受けている方の数と、この情報を災害対策として地域と共有する仕組みづくりについて。

答今年12月現在で、サービスを定期利用する世帯は360世帯。災害時の安否確認等のために情報共有することについては、関係部局と調整の上、利用者の意思確認を行う方法等

を検討していきたい。
災害弱者対策について
関今後、こども防災会議、聴覚障がいや肢体不自由等の障がい当事者による防災会議へと

ず進展が見られない。
関②登録有形文化財に登録したら、国の責任で御茶屋御殿を復元できるのか伺う。
答現存する建造物を登録するものであり、現存しない構造物を復元する補助はない。

関③平成28年度に実施した残存する石垣の測量事業と図面作成が、登録文化財にするためと誤解されて復元の事業手法や事業主体が決まらないのではないかと答理解不足、説明不足を深く反省する。

関④国の責任でさせる方法を、勉強する。調べる。ワーキンググループの専門家に諮る。早めにやる、できる。そういう答弁を求める。答議会の意見を受け止め臨んでいく。

発展して欲しい。
答大変重要であると認識しており、関係部局と調整を図りたい。



古堅茂治
(日本共産党)

離婚後の養育費・面会交流について
関離婚した父母や一人の子どもに本気で寄り添い、養育支援、面会交流などを応援する施策の拡充を。

答重要な課題、精力的に検討する。
子ども食堂朝食提供
関ボランティアや企業などの協力も得て、朝食提供の実施を。

答希望するボランティア



小波津潮
(なは立憲会)

市民の所得について
関那覇市において実際に経済的な豊かさを感じるためには、市民の所得向上が必須になる。本市の考えを伺う。

答第5次那覇市総合計画において、市民所得を指標に設定し、2014年時点の所得を基準値として、2022年度までに270万円にすることを中間目標としており、現状の伸び率から推計すると、中間目標の達成は可能と考えている。
本市における犯罪情勢

アの方々や企業の掘り起こしを行うとともに、学校をプラットフォームとして関係機関との調整を行いながら、子どもたちが安心して健康やかに成長できるように環境を築いていく。
プラスチック対策を
関本市環境基本計画にプラスチック問題を。

答マイクログラスチックの現状と対策の必要性を明記する。
玉陵の国宝指定
関案内など、国宝指定にふさわしく改善を。

答多言語表記を含めたサイン類の改修、ガイダンス施設の内装の改装、周知用リーフレット製作を検討する。

関犯罪を行った少年を更生させるための対応について伺う。
答非行のある少年の立ち直りを地域で支えるボランティアとして、法務大臣の委嘱を受けた保護司がいる。那覇市には、11月末日現在、150人が在籍。活動内容は、面接を行い指導・助言することや、出所時の生活環境の調整、就労支援、市内中学校へ担当保護司を配置し、連携を密に行い、非行防止に努める等の啓発活動を行っている。

那覇市議会のホームページでは、平成29年度の政務活動費(収支報告書、領収書など)を公開しています。
★那覇市議会ホームページを開き、「政務活動費」をクリック
ホームページ↓ <http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>



粟國彰
(自民党)

県産三線普及促進を
関沖縄の三線は、国の伝統的工芸品に指定されたが、年間販売に占める県産三線は、1割2割にとどまっている。県産三線普及促進として、技術者を行政で育成支援できないか見解を伺う。

答三線が国の伝統的工芸品に指定され、本市の伝統工芸品は5品目となった。次年度以降、他の4品目と同様、支援を行



清水磨男
(ニライ)

市民栄誉賞受賞者や架空ネコ都市の活用を
関安室奈美恵さんや山川穂高選手など市民栄誉賞受賞者やニヤハ市との一層の連携を提案。

答市民栄誉賞受賞者やニヤハ市長が、本市のイベントに出席して頂けると幸いである。各局にて時宜の話題に関連させるなど、市民の心豊かな楽しい暮らしにつながる事業展開になることを期待する。
奥武山公園のJ1対応

うとともに、那覇市伝統工芸館においても、各種支援の検討を進めていきたい。
尚家関係資料について
関本市歴史博物館に展示している尚家資料は、市民・県民の学習にどのように活用されているのか。取り組みを伺う。

答尚家資料については、特別展示室にて作品の入れ替えを行いながら常時展示し、小中学校の見学時には資料の解説等を行っている。今後、尚家資料の保存・公開等に万全を尽くしていく。

サッカー場の状況
関J1対応サッカー場の取り組み状況を伺う。
答FC琉球の現在のJ2ライセンスは、新スタジアムを整備するという前提のもとに交付されたことと承知している。このことから、J1対応サッカー場については、着実に整備を進めなければならない。これは県においても当然、そのような認識でしようから、スタジアムの建設を推進するという立場から、引き続き県と連携をしっかりと深めて参りたいと考えている。

那覇市議会のホームページでは、平成29年度の政務活動費(収支報告書、領収書など)を公開しています。
★那覇市議会ホームページを開き、「政務活動費」をクリック
ホームページ↓ <http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>

◆12月定例会で可決。

同意された主な議案

- ▽平成30年度那覇市一般会計補正予算(第5号)
- ▽平成30年度那覇市一般会計補正予算(第6号)
- ▽那覇市緑化センター条例の一部を改正する条例制定について
- ▽那覇市消防手数料条例の一部を改正する条例制定について
- ▽那覇市子ども発達支援センター条例制定について
- ▽那覇市営住宅条例の一部を改正する条例制定について
- ▽那覇市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- ▽工事請負契約について(那覇市新文化芸術発信拠点施設建設工事(舞台照明))
- ▽工事請負契約について(那覇市新文化芸術発信拠点施設建設工事(舞台音響))

※すべての議決結果について
那覇市議会ホームページで確認できます。

11月臨時議会(その1)の概要

平成30年11月臨時議会(その1)は、11月14日及び15日の2日間の会期で開催されました。市長から、訴えの提起についての議案が提出されました。これは、真嘉比古島第一地区の土地区画整理事業において、本市が行った換地処分は、他の権利者と比較して著しく不利益で違法であるとした判決に対し控訴するもので、採決の結果、賛成多数で可決されました。また、上原快佐建設常任委員会委員長から本件に対し、上告する必要がある場合についての附帯決議案が提出され、全会一致で可決されました。

11月臨時議会(その2)の概要

11月27日の臨時会では、那覇市職員の給与に関する条例及び那覇市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例が可決され、また、3件の工事請負契約(小緑小学校及び幼稚園耐震改修工事、石嶺小学校校舎改築工事(建築)、石嶺小学校校舎改築工事(空調))について同意されました。

予算決算常任委員会

平成30年度那覇市一般会計補正予算(第5号)、介護保険事業特別会計補正予算(第2号)、水道事業会計・下水道事業会計補正予算(第1号)、那覇市緑化センター条例の一部を改正する条例制定及び那覇市消防手数料条例の一部を改正する条例制定については、各分科会委員長の審査報告を聴取し、表決を行った結果、それぞれ全会一致により、また、那覇市一般会計補正予算(第6号)は、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

総務分科会

補正(第5号)の概要について、当局から、主に税額更正特別事業(陸自・空自用地)8億4709万円、小学校施設ブロック塀対策事業1億6424万円の増額により、歳入歳出予算にそれぞれ13億2714万円を追加し、補正後の一般会計歳入歳出予算額は、1516億1633万円になると説明がありました。次に補正(第6号)について、委員から、県民投票事務に係る予算5898万円は、義務費という認識か、と質疑がありました。当局から、県民投票条例に規定する知事の事務のうち、投票資格者名簿の調製、投票及び開票の実施その他規則で定めるものは、地方自治法の規定に基づき、市町村が処理することとなっている。従って、これに係る経費は、義務費である、と説明がありました。

建設分科会

エコマール那覇プラザ棟向いの敷地内道路擁壁補強対策事業について、当局から、設計条件等の大幅な見直しが必要になり、設計業務に時間を要したため、当該事業を翌年度に繰越すもの、と説明がありました。委員から、今回の箇所以外の経年劣化が進行している部分についても、次年度に向けてしっかり要求し、継続事業にする必要がある、と意見がありました。

次に、那覇市緑化センター条例の一部を改正する条例制定について、当局から、受益者負担の観点から営利目的に係る利用料金を設定した、と説明がありました。委員から、週に2回教室を開催し、月謝を徴収している者がいる。営利目的の者が年間通して予約することは、施設の目的から照らして、本当に適切か、検討すべきである、と意見がありました。

教育福祉分科会

短期入所生活援助事業について、当局から、保護者が疾病等の事由により、一時的に養育が困難となった場合の生活援助を行う事業であり、母子生活支援センターさくらで実施している。利用者が増えており、事業費を127万円増額するものである、と説明がありました。委員から、施設の受入れの余地はあるのか、と質疑があり、当局から、施設自体の受け入れは問題ない、と答弁がありました。審査後の議員問討議において、委員から、給食センターの排気ダクト取替え修繕に関連し、異物混入事例等も含め、安全安心な給食の提供が行える施設環境を整えるため、緊張感をもって対応するべき、中央図書館の柱の剥離等の修繕に関連し、耐震調査を行っていないのは問題である、と意見がありました。

厚生経済分科会

結核定期健康診断促進事業について、委員から、結核は予防が大切である。これまでの補助実績はどうか、と質疑がありました。当局から、平成25年度が1495人、平成30年度の見込みで3200人余りとなり、5年で約40%程度増加している、と答弁がありました。また、第一牧志公設市場再整備事業について、委員から、現市場解体に伴うネズミ・ゴキブリ対策費800万円について質疑がありました。当局から、様々な手段を用いて駆除を行うが、最終的には薬剤による駆除を行う、と答弁がありました。た。それを受ける同委員から、薬剤が河川に流れ水質汚染の危険がある、と質疑があり、当局から、水質汚染等についても配慮するよう対応していきたい、と答弁がありました。

12月定例会常任委員会の審査概要

総務常任委員会

那覇市火災予防条例の一部を改正する条例制定について、当局から、改正内容として、消防用設備等の設置基準のうち、自動火災報知設備や誘導灯に非常用分電盤を設ける規定について、性能や技術の向上により必要な電源が確保されることから、当該規定を削除することなど3点についての説明がありました。委員から、電源が使用できなくなっても大丈夫なのか、との質疑があり、当局から、自動火災報知設備の中に電池があり、火災時に十分な充電がされている、と説明がありました。

教育福祉常任委員会

「神原中学校校舎改築工事(建築)」の工事請負契約について、当局から、老朽化している校舎の改築を施工するもので、制限付一般競争入札の結果、請負金額2億4764万4000円で、仮契約を締結した、と説明がありました。委員から、2者の入札価格が予定価格の100%で同額となり、くじにより落札者を決めたことについて質疑があり、当局から、昨今の入札の状況として、応札者がない場合もある。また、予定価格を事前公表しており、今回のように100%の同額ということもあり得る、との答弁がありました。

建設常任委員会

那覇市緑化センターの指定管理者の指定について、委員から、運営に係る有資格者の配置や仕事量を考えると、指定管理料が非常に少なく、指定管理者が厳しい条件のもとで苦勞しているように見受けられるが状況はどうか、と質疑があり、当局から、現管理者は、市からの指定管理料が約700万円、施設使用料収入が約180万円、自主事業収入が約300万円あり、年間約1200万円の収入がある。また、先の分科会審査における本施設の利用料金に見直しの件もあり、収入は増える見込みである、と答弁がありました。

厚生経済常任委員会

那覇市パレット市民劇場及び那覇市民ギャラリーにおける指定管理者の指定について、委員から、前回の指定管理期間は3年だが、5年に変更した理由は、と質疑があり、当局から、人材育成等から5年が望ましいという意見があり、調整の結果設定した、と答弁がありました。次に、那覇市ぶんかテンブス館の指定管理者の指定について、委員から、今回の指定管理者の指定はどのような経過で決まったのか、と質疑があり、当局から、応募は3団体あり、プレゼンテーション形式で評価した、と答弁がありました。

平成30年11月臨時会 議案(全会一致を除く)に対する議員の賛否一覧

○ … 賛成 × … 反対 退 … 退場 議 … 議長は採決に加わりません ◆那覇市議会議員 条例定数 40 人

議決年月日	議員氏名、等 議案名等	出席者数	表決総数	賛成	反対	議決結果	議席1 ニライ	2 ニライ	3	4 共産	5 共産	6	7 無属	8 無属	9 維無	10 維無	11 ニライ	12 ニライ	13 ニライ	14 f無	15 共産	16 共産	17 共産	18 共産	19 共産	20 公明	21 公明	22 公明	23 みら	24 自民	25 自民	26 自民	27 ニライ	28 ニライ	29 ニライ	30 ニライ	31	32 公明	33 公明	34 公明	35 f無	36 みら	37 自民	38 自民	39 自民	40 自民
							永山盛太郎	翁長雄治	奥間綾乃	上原安夫	西中間久枝	仲松寛	中村圭介	前泊美紀	當間安則	新崎進也	上原快佐	下地敏男	多和田栄子	小波津茂潮	古堅茂治	湧川朝涉	我如古一郎	前田千尋	宮里昇	喜舎場盛三	野原嘉孝	大城幼子	上原仙二	大嶺亮二	吉嶺努	新垣淑豊	清水磨男	金城真徳	平良識子	宮平のり子	翁長俊英	桑江豊	糸数昌洋	大浜安史	上里直司	坂井浩二	大井孝夫	奥間亮	栗國彰	久高友弘
11月15日	【議案第 110 号】 訴えの提起について	40	39	32	7	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	×

会派名略称 ニライ：ニライ 共産：日本共産党 自民：自民党 公明：公明党 f無：なはのf・無所属 維無：維新・無所属の会 無属：無所属の会 みら：なはのみらい ※会派無所属は表示なし

平成30年12月定例会 議案(全会一致を除く)に対する議員の賛否一覧

○ … 賛成 × … 反対 退 … 退場 議 … 議長は採決に加わりません ◆那覇市議会議員 条例定数 40 人

議決年月日	議員氏名、等 議案名等	出席者数	表決総数	賛成	反対	議決結果	議席1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
							ニニ	ニニ		共産	みら	みら	無属	無属	維無	維無	ニニ	ニニ	ニニ	共産	共産	共産	共産	共産	共産	公明	公明	立志	立志	自民	自民	自民	ニニ	ニニ	ニニ	ニニ	平良	宮平	喜舎場	桑江	糸数	大浜	上里	仲松	自民	自民
							永山盛太郎	翁長雄治	翁長俊英	上原安夫	上原仙子	坂井浩二	中村圭介	前泊美紀	當間安則	新崎進也	上原快佐	下地敏男	多和田栄子	西中間久枝	古堅茂治	湧川朝涉	我如古一郎	前田千尋	宮里昇	野原嘉孝	大城幼子	奥間綾乃	小波津亮二	吉嶺努	新垣淑豊	清水磨男	金城真徳	平良識子	宮平のり子	喜舎場盛三	桑江豊	糸数昌洋	大浜安史	上里直司	仲松寛	自民大山孝夫	自民奥間亮	自民栗國彰	自民久高友弘	
12月26日	【議案第 129 号】 工事請負契約について (那覇市新文化芸術 発信拠点施設建設工事 (舞台照明))	40	39	30	9	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	
12月26日	【議案第 130 号】 工事請負契約について (那覇市新文化芸術 発信拠点施設建設工事 (舞台音響))	40	39	30	9	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	
12月26日	【議案第 147 号】 平成 30 年度那覇市一 般会計補正予算 (第 6 号)	40	35	22	13	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	退	退	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	退	退	×	×	×	×

会派名略称 ニライ：ニライ 共産：日本共産党 自民：自民党 公明：公明党 立志：なは立志会 維無：維新・無所属の会 無属：無所属の会 みら：なはのみらい ※会派無所属は表示なし

●●●新会派が結成されました!!●●●

【なは立志会】平成30年11月13日結成 【なはのみらい】平成30年11月15日結成
・上里 直司 議員 ・仲松 寛 議員 ・坂井 浩二 議員 ・上原 仙子 議員
・小波津 潮 議員 ・奥間 綾乃 議員
(同19日付で「なはのf・無所属」より名称変更)
(同19日付で仲松寛議員、奥間綾乃議員が加入)

◆◆◆現在の各会派の構成議員数◆◆◆

ニライ (9人)、日本共産党 (7人)、自民党 (7人)、公明党 (6人)、なは立志会 (4人)、
維新・無所属の会 (2人)、無所属の会 (2人)、なはのみらい (2人)

愛楽園入所者激励訪問
教育福祉常任委員会、
去る11月5日に名護市にあ
る国立療養所沖縄愛楽園を
訪問し、那覇市出身者の皆
さんを激励しました。
納骨堂への献花を行った
後、那覇郷友会の皆さんや
園長・スタッフらと懇談し
ました。
その後、激励公演として
那覇太鼓による演舞や、市
職員が開園
80周年を祝
う横断幕を
持つて会場
を歩き回る
など、集ま
った入所者
の皆さんと
共に大いに
盛り上がり
ました。



那覇市議会の本会議を
傍聴しませんか
市議会は2月、6月、9月、12
月の定例会や臨時会で、市民の皆
様の生活に関わりの深い議案など
を審議しています。
議場は市役所4階にあり、どな
たでも傍聴
できますの
で、ぜひ傍
聴にいらし
てください。
また、児
童・生徒、
学生などの
社会科学習
の場などと
しても活用
ください。
※手話通訳をご希望される方は、事
前申込みが必要です。議会事務局
務課までお問い合わせください。
TEL(098)86218108
FAX(098)86218296



2階席から傍聴するオキナフインターナショナルスクール3・4年生 (11月14日)

「議案第 110 号 訴えの提起について」
に対する附帯決議

議案第 110 号訴えの提起については、那覇市内地権者の相続人である原告から那覇広域都市計画事業真嘉比古島第一地区土地区画整理事業の施行者である那覇市に対し換地処分を取り消しを求める裁判が提訴されていたが、平成 30 年 10 月 31 日に、換地処分取消の請求は棄却され、換地処分は他の権利者と比較して著しく不利益で違法であるとの判決が下ったことにより、当局から控訴のため議会の議決を求める事件である。

議案中、項目 5 事件に対する取扱い及び方針では、「必要がある場合は、訴えの取り下げ、和解又は上告するものとする。」とあるが、本件については、当該事業及び市民に与える影響を鑑み、議会においてはなお慎重な判断を要するため、上告する際は議会の議決を経るものとすることを強く要望する。

以上、決議する。

平成 30 年 (2018 年) 11 月 15 日

那 覇 市 議 会

あて先 那覇市長

写真で振り返る 2018 年 那覇市議会の動き



「第 10 回議会報告会の市民から寄せられた意見・要望に対する回答文書」が市長から議長へ手交。(5月2日)



「アメリカ統治下議会議事録電子化事業」が完了！記者会見を行う。(4月3日)



議員 8 名が講師として、沖縄大学で「学問と社会」と題した講義を行う。(1月29日)



鏡水ふれあい会館 (5月10日)



市役所1階市民会議室 (5月9日)



「アメリカ統治下議会議事録電子化事業完了記念パネル展」を本庁1階ロビーにて開催。(5月21日～25日)



沖縄大学3号館 (5月10日)



首里支所会議室 (5月9日)

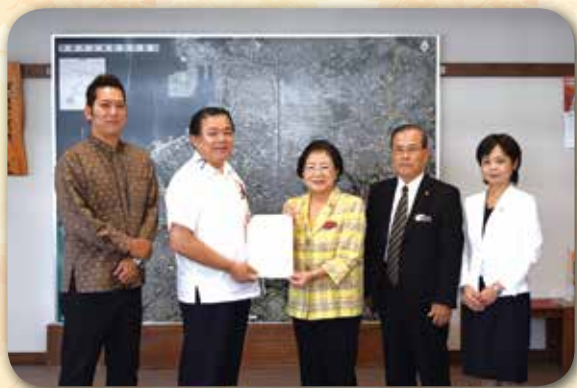
「第 11 回議会報告会」を市内4会場で開催。



「那覇市戦没者追悼式(なぐやけの碑慰霊祭)」を執行部と合同で開催。(10月28日)



「教育事務点検評価報告書(平成29年度事業)」が教育長から議長へ手交。(8月29日)



「第2次那覇市環境基本計画中間見直し(案)」に対する提言書を議長から市長へ手交。(12月3日)



「第2次那覇市環境基本計画中間見直し(案)」の提言に関して開催された、全員協議会。(11月19日)



「政治倫理条例のすべて」と題し、九州大学名誉教授の齋藤文男氏を招聘して、議員研修会を開催。(11月8日)